

# 都市公園の柔軟な管理運営の促進に 向けた基本的考え方

---

# 都市公園の柔軟な管理運営の促進に向けた基本的考え方

## 社会経済状況の変化

### 新型コロナの感染拡大を経た ニューノーマル社会への対応

- 働き方や暮らし方に対する意識や価値観の変化・多様化、都市に対するニーズの変化・多様化
- リアルな場でしか得られない経験
- 人間中心・市民目線のまちづくり
- 機動的なまちづくりへの対応

### 気候変動、カーボンニュートラル グリーンインフラ

- 再生可能エネルギー、未利用エネルギーの利用拡大
- リスクに対応できる柔軟性・冗長性（気候変動への適応、流域治水）
- 生物多様性(30by30)

### デジタル化、新技術の進展

- ビッグデータを活用したマネジメント、スマートプランニング
- データを活用した都市の密度のコントロール
- カメラによる人流分析、見守り
- センシング技術によるインフラ管理

### 「居心地が良く歩きたくなる」 まちづくりの取組の広がり

- まちなかにおける交流・滞在空間の創出
- 開かれた心地良い空間
- 多様な人々の出会い・交流を通じたイノベーションの創出
- 人間中心の豊かな生活の実現

### 市民・事業者の意識変化

- 「心の豊かさ」を重視する人の割合の更なる増加
- 身近な人との交流へのニーズ
- モノの所有よりも体験に価値を見いだす、「コト消費」の需要拡大
- SGDs等を背景とした社会課題に対する意識の高まり

### 自治体財政のひっ迫 インフラの老朽化

- 更なる人口減少に伴う厳しい財政制約
- インフラのメンテナンスに携わる人的資源の不足(市区町村における土木部門の職員数減少)

快適に過ごせる  
ゆとりあるオープンスペースの  
あるまち

持続可能でレジリエントなまち

多様な暮らし方・働き方を  
実現できるまち

様々な変化の中で  
都市公園を核として実現したい  
まちの姿

デジタル技術を活用して  
新たな価値創出を目指すまち

社会課題の解決に挑む  
人々がつながるまち

健康で幸福に暮らせるまち

## 人中心のまちづくりに向けて都市公園が果たす役割

良好な都市環境、  
心豊かな生活を支える  
グリーンインフラ

多様なニーズに  
対応できる  
オープンスペース

人と人がつながる  
リアルな交流の場

市民、事業者の  
社会貢献活動の場

機動的、実験的な  
まちづくりの拠点

○○○○○○○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○  
 (メッセージを打ち出すためのキャッチコピーを検討)

全国11万箇所・13万haの都市公園が、都市・地域・市民のため、そのポテンシャルを最大限発揮するには、  
**変化する社会経済状況や一人ひとりのニーズ**に応え、**柔軟に管理運営される公園**を目指すべき。

柔軟な  
管理運営に  
求められる  
視点

都市アセットとしての利活用  
 → 地域資源として能動的かつその価値を更に引き出すよう「利活用」する

多様な利活用ニーズの具体化  
 → オーダーメイドのルールづくりにより、多様な利活用ニーズをカタチにする

ステークホルダーの参画  
 → ステークホルダーの参画を促しパートナーシップにより公園をマネジメントする

## 都市・地域・市民のためにポテンシャルを最大限発揮できる公園の実現に向けた重点戦略

### 公園再生の全国展開

## 1. 新たな価値創出や社会課題解決のための **場** となる

都市における新たな価値創出や社会課題解決の場となり、緑のオープンスペースとしてのポテンシャルを最大限発揮できるようにする。  
 このため、NbS(自然を基盤とした解決策)の観点から、都市の特性、課題等を踏まえ、公園の自然環境をグリーンインフラとして保全・利活用するとともに、居心地がよく誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間づくりを進め、人中心のまちづくりのコアとしての機能向上、利活用を図る。新技術やデータも活用し、公園の利活用や運営状況等の評価を行うとともに、エビデンスに基づきニーズに迅速に対応できる環境整備を図り、これらの取り組みを支える。

施策の方向性 (1)グリーンインフラとしての保全・利活用 (2)居心地が良く誰もが快適に過ごせる空間づくり (3)デジタル技術とデータの利活用

### 管理の弾力化

## 2. しなやかに使いこなす **仕組み** をととのえる

多様化する利用ニーズに応えるとともに、都市公園が機動的なまちづくりの拠点となるよう、公園の特性等に応じた利用ルールの多様化、新たな利活用の社会実験など、公園をしなやかに使いこなす仕組みを整える。

施策の方向性 (4)利用ルールの多様化 (5)実験的な利活用の推進

### 官民連携の強化

## 3. 管理運営の **担い手** を広げる・つなぐ・育てる

官民連携の進展や、社会貢献に対する事業者・市民の意識変化を踏まえ、公園管理者・利用者以外のステークホルダーも含めてパートナーシップを構築することで、公園の管理運営の担い手を広げ、つなぎ、育てる。

施策の方向性 (6)担い手の拡大と共創 (7)自律性・自立性の向上